

## 令和元年度霧島商工会議所経営発達支援計画評価結果報告書

1 評価機関名 霧島商工会議所経営発達支援計画外部評価委員会

2 開催日 令和2年12月21日

3 出席者 【評価委員】

岸本博人税理士事務所所長 岸本博人委員

霧島市商工観光部長 谷口隆幸委員

k-o f f i c e 代表 角 幸憲委員

4 評価方法

事務局で作成した事業実績報告及びアンケート結果等を委員に送付した。

当該資料を基に回答票に評価結果及び講評を記載していただいた。

令和元年度の主な事業実施状況、評価結果は、下記のとおりである。

### ◆ 地域の経済動向調査に関すること

#### ・取組内容

昨年に続き、商店街における歩行者等の通行量調査を実施するとともに、新たにお客様のホッペアンケートを実施した。通行量調査は、中心市街地の6地点において移動手段、時間帯別の推移等について調査を行い、通り会員等へ情報提供を行い、顧客誘導への活用していただいた。

新規開業検討者には、出店予定地や業種、営業時間等を検討していく上の参考資料として活用していただいた。また、全国規模の展示会3カ所に出展、地場産品である焼酎、茶などのバイヤーに対して需要動向の聞き取りを行い、情報提供を行った。

#### ・評価 A

### ◆ 経営状況の分析に関すること

#### ・取組内容

資金繰り相談、税務相談、事業承継相談、各補助金申請相談時などを利用し、決算書による財務分析や定性面の聞き取りにより経営状況の分析447件を行った。また、専門家による講習会を開催、経営状況の分析に取り組む小規模事業者の掘り起しも引き続き行った。

主な経営分析の延べ件数

① 金融関係 223件

② 税務関係 192件

③ 各補助金 32件

#### ・評価 A

### ◆ 事業計画策定支援に関すること

取組内容

下記に掲げる事項を主体とした経営計画、事業計画の作成支援100件を実施した。

① 事業継続力強化計画 3件

② 先端設備導入計画 8件

③ 経営力向上計画 4件

④ 小規模事業者持続化補助金経営計画	
平成30年度第2次補正	6件
令和元年度補正 一般型第1回	3件
⑤ 霧島市中小零細企業持続化補助金経営計画	16件
⑥ ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金経営計画	
平成30年度第1次補正	3件
平成30年度第2次補正	4件
⑦ 金融支援に伴う事業計画	26件
⑧ 創業支援に伴う事業計画	27件
・評価	A

#### ◆事業計画策定後の実施支援に関すること

##### 取組内容

事業計画策定に取り組んだ創業者や小規模事業者のフォローに取組み、専門家相談やセミナーの開催等、売上アップ対策、IT化支援など事業計画策定後の増収支援に取り組んだ。

創業支援37件

・評価 A

#### ◆需要動向調査に関すること

##### 取組内容

霧島市国分地区「お客様のホンネ」アンケートを実施結果や統計データ、業界誌、展示会等の情報収集等を活用し、需要動向の収集・分析を行うとともに、巡回訪問時に事業者への情報提供を補足説明と合わせて実施した。

巡回企業数 経営指導員221先 経営支援員145先

・評価 A

#### ◆新たな需要開拓に寄与する事業に関すること

##### 取組内容

地域の商談会はもとより全国規模の商談会、展示会を利用し、小規模事業者の販路開拓に取り組んだ。また、店舗PR誌の発行による店舗・商品の紹介の実施、関係機関との連携による共同広報、普及活動を実施した。

参加した展示会等 アグリフードEXPO東京・アグリフードEXPO大阪  
フードスタイルIN FUKUOKA・海津市産業感謝祭

・評価 A

## II. 地域経済の活性化に資する取組み

#### ◆商店街振興対策及び他機関との連携

##### 取組内容

観光客誘致、中心市街地活性化のため夏祭り、ふるさと祭などのイベントの実施、参画を行っ

た。また、地域特産品であるお茶の普及、振興策としてあいら農業協同組合との包括連携協定に基づき、共同ポスターの作成、共同広報を行った。

・評価 A

### Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

#### ◆ 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関する取組

取組内容

日本政策金融公庫をはじめとした金融機関との懇談会の実施、近隣商工会等との共同開催による創業塾を実施した。

・評価 A

#### ◆ 経営指導員等の資質向上等に資する取組

取組内容

所内研修会の実施やWebセミナーの受講、国等の関係機関が実施する研修会に参加した。習得したノウハウや事例研究など等は職員間で共有した。

・評価 A

#### ★事業の評価等の内容について

評価委員3名による事業評価票により評価判定を行った。評価概要は下記のとおりである。事業計画の策定などの際、ニーズ把握や消費者動向を見極めていくことが重要であるので、引き続き経済動向の調査等を実施していただきたい。また、経営分析結果、内容等は、引き続きできるだけわかりやすく小規模事業者に説明を行うようお願いしたい。なお、事業計画の策定などは目標を大きく上回る値になっており、評価できると考える。残念ながら目標を下回った事業計画策定後の実施支援等の項目が一部あったが、コロナ禍の状況を考慮すると感染等の事故もなく事業を終えることができたことは良かったと考える。引き続き包括連携を促進していく取り組みを行ってほしい。

よって総合評価をA評価とする。

#### 【評価区分】

評価達成割合 評価達成割合

A 80%以上～100% B 60%以上～80%未満 C 30%以上～60%未満 D 0%以上～30%未満